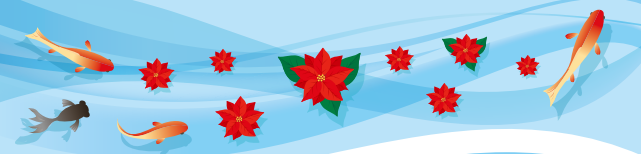


えどがわ 区議会 だより

令和5年第3回定例会号



発行
江戸川区議会



<https://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

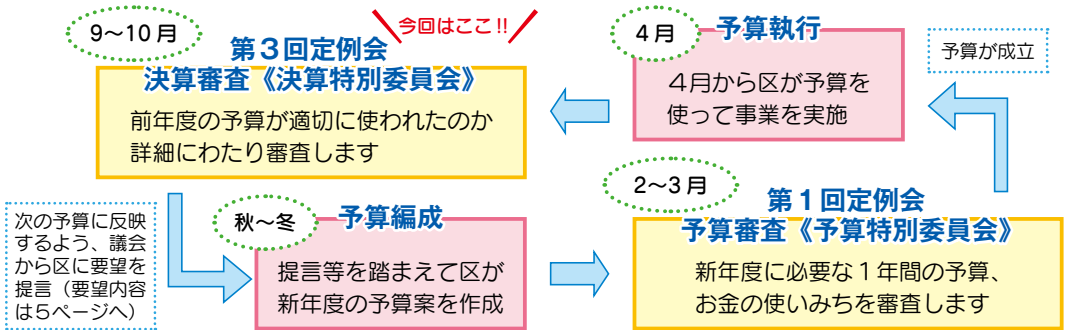
江戸川区議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

令和4年度 決算を認定 ～お金の使いかたを審査しました～



決算特別委員会の様子

～予算・決算のサイクル～



令和5年第3回定例会は9月20日から10月26日までの37日間の会期で開かれました。

- 本会議2日間で合計13人の議員が区政の課題について、区長に質問を行いました。
- 区長から議案21件、報告5件、同意1件が提出されました。決算の認定を含め、いずれも原案のとおり可決されました。
- 議員が提出した議案2件は原案のとおり可決され、意見書は各関係機関に送付しました。
- この定例会の会議録は、2月上旬にできあがりです。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。

決算特別委員会で審査された令和4年度の主な事業

経営企画費 ICTの更なる活用のための情報化推進体制の強化 1,108万1千円

DX推進人材の育成

新たに「DX人材育成研修体系」を整備し、オンライン動画研修システムの導入や、区民のデジタルデバインド解消をサポートするための全庁的な職員研修等を行った。



健康費 母子保健 8億5,832万8千円

パパとパートナーのための育児ゼミ事業

妊婦のパートナー及び0歳から2歳児までの父親が育児スキルを学び、子育ての悩みの共有や情報交換の場を提供することで、不安と悩みを軽減し父親のうつと児童虐待の未然防止に繋がる支援を行った。



土木費 交通安全対策に関する事務 4,397万6千円

交通安全対策事業の実施

「交通事故のない、安全で安心して生活できるまち」を目指し警察等と連携して安全対策を進めた。小中学生への自転車運転に関する教室、幼児・保護者・熟年者等への啓発を行い命の大切さを訴えた。

環境費 気候変動対策及び啓発に関する事務 1,785万6千円

気候変動適応計画の策定

気候変動の緩和策と適応策を柱とした「みんなで『いまの生命(いのち)』と『みらいの地球』を守る計画」を策定した。令和5年2月には都内初の2050年「カーボン・マイナス都市宣言」を表明した。

福祉費 ひきこもり支援推進事業 7,220万7千円

駄菓子屋居場所 よりみち屋のオープン

ひきこもり当事者が安心して過ごせる居場所を開設した後、当事者が併設する駄菓子屋で就労体験ができる駄菓子屋居場所 よりみち屋を令和5年2月に開所した。

文化共育費 図書館の管理 19億2,685万5千円

江戸川区立図書館サテライト事業

読書機会の更なる提供と区民の利便性の向上を図るため、学校図書館と連携して区立小学校5校に図書館サテライトを設置した。



教育費 教育活動事業 7億8,644万2千円

放課後補習教室

学力の向上や学習習慣の確立を促し、主体的に学ぶ意欲を育むため、特に授業への理解度を深めることが必要な児童・生徒を対象に、民間人材を活用した放課後補習教室を区立小中学校全校で展開した。



子ども家庭費 区立保育園の運営 3億5,831万8千円

区立保育園での医療的ケア児の受け入れ

看護師配置等の体制を整えることにより、経管栄養など医療的ケアが日常的に必要な児童の受け入れを行い、集団保育を通して児童の成長に繋がるよう取り組んだ。

区政への質問

9月25日に代表質問、26日に一般質問が行われ、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

QRコードから各質問者の質問映像をご覧になれます。

代表質問

葛西地区の更なる発展 世界で輝く江戸川区へ



自由民主党
福本 みつひろ



問 葛西エリア全体のこれからの発展について。

- ①葛西地区全体を俯瞰したときのポテンシャルと将来展望について、区長の所見を。
- ②一大スポーツ拠点として、盛り上がるスポーツ熱をいかに継続させ発展させていくのか。
- ③葛西エリアとその他のエリアを結ぶ公共交通のポテンシャルについて。

答 ①賑わいの可能性を有する臨海部の土地のポテンシャルを最大限に発揮できるよう魅力あるまちづくりに積極的に挑んでいきたい。
②「みるスポーツ」の充実で、「する」きっかけとなり、地域経済への波及効果等が期待できる。スポーツ環境を整備し地域活性化等に繋げたい。
③臨海部も含めた回遊性や利便性の確保のため、交通システム導入の可能性を検討したい。

問 公共施設再編・整備計画について、長期的展望のみならず短・中期的な視点からの進め方と専門家への意見聴取も必要では。

答 2100年からバックキャストで考えると短・中期的計画に繋がる。全体像を示したうえで各地域の検討を行い、都市マスタープランとの整合も図り専門家の意見等も伺いながら進めたい。

問 姉妹都市ホノルルを絡めた今後の交流の展望について。

- ①姉妹都市交流サミットの成果と今後の展望は。
- ②ホノルル市と姉妹都市・友好都市関係にある国内都市との関係構築について。

答 ①サミットでは交流の重要性等が再確認でき、ホノルル江戸川区民会が設立された。今後も経済・文化・スポーツ等幅広い分野で交流しWin-Winの関係になるよう努力したい。

②交流の幅の拡大や多様で効果的な事業展開、交流人口の増という観点からも国内都市と情報共有を図り関係構築を進めたい。ハワイ州全体を起点とした新たな取り組みを研究する。

問 少子高齢化や人口減少の中、区の魅力を高めるため今後求められる住宅政策について。



今後求められる住宅政策について

答 環境にやさしく安全・安心でライフステージ等に合った住まいを選択できることが重要と考える。今後も時代の変化を捉え、快適に住み続けられる魅力ある住まいづくりを目指したい。

問 江戸川区の経済対策について。

- ①流動的な情勢における事業者支援について。
- ②建設業における働き方改革が進む中、公共工事を担う事業者への今後の取り組みは。
- ③「えどPay」等デジタルも活用した経済活性化

と生活応援策実施の狙い、今後の展望は。

- 答** ①引き続き事業者の声に耳を傾け、国や都の動向も勘案し適切な支援をきめ細かく行う。
②公共工事発注者として建設業者の働き方改革を支援できるよう積極的に取り組んでいく。
③デジタル化の推進が商店街振興、経済活性化に繋がると考える。商品券まつり終了後には実施結果を区商連と精査し改善を図りたい。

問 コロナ禍を踏まえ、学校現場での歯の健康づくりに今後どのように取り組むのか。

答 給食後の歯磨きやフッ化物洗口、かかりつけ医への受診勧奨等実施する。今後も歯の健康を教育の重要課題として確実に取り組んでいく。

共生社会の取組み、くつろぎの家の跡施設の早期設置



公明党
川瀬 やすのり



問 共生社会ビジョンの取組みについて。

- ①アクションプランの意義と未来への思いを。
- ②区民の思いを聴くための取組みについて。

答 ①今を生きる私達には未来のために行動する責任がある。区民の声を受け止めながら、ともに生きるまちの実現に向け行動したい。
②場面に応じてより良い方法を模索し、区民の皆様の声とともに歩む区政を今後も展開したい。

問 共生社会の関連条例を踏まえたベーシックサービスの考え方について、区長の所見を。

答 限りある財源の中で安心して暮らせる社会の持続には助け合いが必要である。一人ひとりが自分らしく輝けるまちに向け取り組みたい。

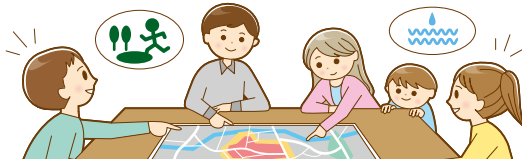
問 生活保護業務の不適切事案の発生原因とその背景の分析及び再発防止のための生活保護業務の運用の改善について。

- ①一元的な報告の改善とAI等活用した業務改善を行い、業務全体の運用について改善を。
- ②今後の人命・人権尊重について区長の所見を。

答 ①提案内容も含め改善の検討を進めたい。
②更なる意識啓発等で全職員に徹底していく。

問 水害等の自然災害に対する今後の取り組みについて。

- ①ハザードマップ改定の考え方と検討状況は。



ハザードマップ改定について

- ②予測困難な災害に対する対策について。
- ③災害時協力協定の今後の取り組みについて。

答 ①意見聴取会を設け利用者目線による意見を取り入れ、令和6年度に印刷・配布をする。スマホのGPSによる誘導等検討を進めている。

②迅速な情報収集・発信、関係機関との密な連携等、状況に応じた対策を行っていく。

③協定団体を交えた訓練等を行っていききたい。

問 視覚障がい者からの相談について、日常生活用具の支給の検討を積極的に進めるべき。

答 日常生活用具で新機種が出た場合には事

案ごとに事業の趣旨に沿うか確認している。利用効果を確認して適切に給付対応を進めたい。

問 区立くつろぎの家の跡施設について。

答 公共施設再編・整備計画に基づき地域の意見を伺い、余熱の活用とともにユニバーサルデザインによる誰もが安心して使える施設にする。

春江橋の架替工事と瑞江駅前エレベーターの安全対策



無所属の会
神尾 てるあき



問 今後も外国人観光客の日本需要はコロナ禍前と同様に高いと考える。増加するインバウンドを意識した積極的な情報発信を。

答 120言語対応の区ホームページやSNSによる発信、民間観光情報サイトの活用等を行ってきた。しかし、外国人が見なければ意味はないため、外国人観光客がよく利用する日本を紹介しているサイトで発信できないかを模索していきたい。更なる魅力発信や地域経済の活性化に繋げていく。

問 春江橋の架替工事について。

①地域住民から予定通りの工期で完了するの心配する声が出ているが、予定した工期内で安全に完了することができるのか。

②公共事業において地域との合意形成はなによりも重要である。今後も丁寧な地域住民への説明機会の確保を要望するが、区長の所見を。

答 ①令和4年11月より仮人道橋設置及び旧橋撤去工事を行い、この秋からは一之江側の橋台整備と旧橋脚撤去を行う予定である。順調に工事を進めていきたい。

②広くお知らせしていくため、現地でのオープンハウス方式で説明会を行い、地域の方々の理解と協力を得ながら令和10年度末の開通を目指していく。

問 瑞江駅の南口ロータリー側に地上と地下駐輪場を繋ぐ駅改札直結のエレベーターがある。駐輪場利用者以外にも多くの人々が利用するが、朝の通勤時間帯は行列になり自転車利用者との接触事故が発生した事例もある。車いす利用者も多い瑞江駅前エレベーターの安全対策を。



瑞江駅前のエレベーター利用時の安全対策について

答 自転車利用者やスロープを使える方には、駐輪場のスロープを利用するよう、ポスター等で誘導を行っていききたい。配慮が必要な方をはじめ、全ての利用者がより安全に気持ちよく利用できるような努めていく。

現行保険証存続、保育士不足解消、生活保護行政充実



日本共産党
小俣 のり子



問 マイナンバーカードと一体の健康保険証について。

- ①カード取得は任意であるが、区長の所見は。
- ②保険証紐づけによる混乱と不信について。
- ③現行の健康保険証の存続を国に求めるべき。

答 ①強制するものではないと理解している。
②信頼を損なわれる事態があった。関係機関と

協力し理解や信頼を得られるように努める。

③マイナ保険証の撤回を求める考えはない。

問 区立保育園の正規保育士確保について。

①必要基準に基づき4月に正規保育士配置を。

②保育士不足時は、年度途中でも正規採用を。

③新たな保育事業では、現場の意見を聞き体制を整えて行うことについて、区長の考えは。



区立保育園の正規保育士確保について

答 ①今後も様々な手立てを講じていきたい。

②状況に応じて正規、再任用、会計年度任用職員で対応し、今後も個々の状況を見て対応する。

③現場とも検討を重ねながら取り組んでいる。

問 生活保護利用者遺体放置事件を教訓に生活保護行政の充実を。

①生活援護第三課の中途退職者が多く出た実態への認識と安心して働ける職場環境について。

②ケースワーカー、査察指導員の人材育成と確保について。

1)ワーカーの経験年数が少ない現状の改善は。


2)ケースワーカー担当数、査察指導員の担当ケースワーカー数について監査等の指摘と改善は。

答 ①大変重く受け止め、仕事の悩みを聴く機会を設けた。風通しの良い職場にしたい。

②1)今後も職員の配置は年齢や経験、本人の意欲・適正等を考慮し適材適所の観点で行いたい。

2)一部指摘を受けたが、ケースワーカー1人あたり担当数は都平均より少なく、査察指導員も増員してきた。今後も体制充実に努める。

**喫緊の課題、マイナ保険証
戸籍法改正、フッ化物洗口について**



立憲民主・国民民主
筈本 ひさし

問 児童相談所設置に伴う都区財政調整協議には厳しい姿勢で交渉すべき。区長の決意を。

答 都と区の大幅な役割分担の変更であり、特別区として変更の必要性を引き続き議会と一丸となり訴え、早期の決着を目指していく。

問 戸籍法改正について。

①令和元年戸籍法改正の目的と概要は。令和5年度中の施行を予定しているが、進捗と課題は。

②令和5年戸籍法改正における振り仮名法制化の目的と概要、現在の進捗は。膨大な事務負担に対する今後の取り組みと体制について。

答 ①戸籍システムを全国的にネットワークで結び事務効率化を図ることにある。システム改修は終了し施行後運用を開始する。振り仮名法制化等、同時に行う事務量の増が課題である。

②手続きの迅速性・効率性の向上、本人確認の円滑化を図ることにある。令和7年施行に向け法務省が事務を整理・検討中と聞いている。国の通知後速やかに本区の55万の戸籍を持つ人に対し円滑に処理体制を整え適切に対応したい。

問 マイナ保険証について区民への説明と周知、特に高齢者には資格確認書で対応可能なことを丁寧に説明すべき。区長の所見を。

答 マイナンバーカードの取得や保険証利用によるメリットを区民に説明・周知し、一体化に引き続き対応していきたい。

問 区立小中学校でのフッ化物洗口の全校実施と学校歯科健診後の治療報告書の仕組み化を。




区立小中学校におけるフッ化物洗口について

答 フッ化物洗口は全ての児童生徒の虫歯を予防し健康格差縮小に繋がるため、全校実施に向け計画的に進めていく。学校歯科健診後の治療報告書の仕組み化については、リーフレットの配布や養護教諭による受診勧奨を行っており、今後も学校や学校歯科医会と連携し進めたい。

一般質問

ガムのポイ捨て対策、PR大使選任などを



自由民主党
金井 高志

問 災害に対する防災・減災への備えについて。

①ハザードマップ改定の進捗状況とその方針は。

②夏季の避難所における熱中症対策について。

③手回し充電器やソーラーモバイルバッテリーの避難所への準備と各世帯への配布について。

④避難所でのペット避難区画の設定と、飼い主がそこにどの程度いられるのか。また避難訓練でペット同行避難の訓練実施が必要では。

⑤避難所における犬と猫のペットフードの備蓄と、人とペットとの共用食料の備蓄について。

答 ①9月に第1回検討委員会を実施し、今後は意見聴取会も開催して議論を重ねる。利用者の意見を取り入れICT等も駆使した見やすく分かりやすい内容で避難方法を再周知したい。

②空調設備、大型扇風機を各避難所に設置している。電力遮断も想定し必要最小限の熱中症対策用品の自助による用意も必要と考える。

③各避難所に蓄電池やカセットボンベ式発電機を用意している。家庭配布はせず、各自が備える重要性を防災訓練等で引き続き啓発したい。

④各避難所でペットスペースを確保しており、同伴時間に制限はない。篠崎公園のドッグラン以外の会場でもペット同行避難訓練を実施したい。

⑤避難所でのペットフード備蓄は飼い主の責任として、家庭用備蓄と併せた準備を啓発したい。

問 区内の駅前広場やその周辺の歩道等の環境美化について。

①駅前広場やその周辺の歩道等のガムの噛みカスによる黒い汚れの除去と清掃について。

②たばこのポイ捨て防止の啓発活動に加え、ガムのポイ捨て防止の啓発活動も行っては。

答 ①黒い汚れは簡単には取れず、専門の機械をかう等の対応を考えたい。まちの顔にふさわしい駅前広場に向け更なる環境美化に努める。

②庁内の関係部署や地域住民とともに、モラルマナーの向上を呼びかけていきたい。

問 本区には出身タレントも多く、魅力発信の視点から広報大使・PR大使を選任しては。

答 PR大使の任命や著名人の起用等、今後の魅力発信の中で効果的な方法を検討したい。

問 区立小中学校の児童・生徒の学力レベルの向上について。

①本区の学力レベルの現状の認識について。

②令和5年度実施の学力レベル向上のための取り組みとその具体的な内容や課題について。

③都の「受験生チャレンジ支援貸付事業」の周


知と、成績上位で学習意欲も高いが家庭事情等で学習機会が少ない中学生への支援について。

答 ①本区の全国学力・学習状況調査の平均正答率は都よりも3~5ポイント低くなっている。都平均の力を身に付けさせたい。

②電子ドリル導入や教員経験者の派遣、更には本区独自の「学びのスタンダード」を全校に提案している。令和8年度全国学力・学習状況調査での都との差の解消を目標に着実に取り組む。

③今後も3年生全員にパンフレット等配布する。全児童生徒の個別最適な学びの実現のため、有効的な支援を他自治体の例も参考に研究する。

**ふるさと納税に新たな展開を
区立小中学生の検定料助成を**



公明党
佐々木 ゆういち

問 脱炭素・気候変動への取り組みについて。

①第6次環境行動計画への思いや取り組みは。

②気候変動対策に関する助成制度の現状と太陽光発電システム等の補助件数の拡充について。

③脱炭素先行地域への取り組みと区民や事業者との連携や協働をどのように進めていくのか。

答 ①建物のZEB化等ハード整備を積極的に推進し50%を超える排出量削減を達成したい。

②短期間で予定件数を上回る大きな反響があった。今後も効果的な手法を検討していく。

③学ぶ、知る、実践のサイクルを推進していく。

問 ふるさと納税の新たな展開や取り組みは。

答 区民の声を多く区政に反映していけるよう、返礼品無しのクラウドファンディングを行いたい。

問 選定外の江戸川ナンバー図柄案の活用を。

答 選定委員の意見やアンケートの実施を通じて寄せられる声を参考に検討していきたい。

問 統廃合される学校のピアノ等活用し、区内施設や商店街にストリートピアノの推進を。

答 条件が揃う場所があれば設置を検討する。

問 タブレットを活用した区立小中学生への学習支援について。

①デジタル教科書の活用や読み書きが困難な子ども達への学習支援について。

②タブレットによるオンライン学習の場の拡充を。

答 ①デジタル教材導入を積極的に進めたい。

②学びたいと思った時に学べる環境整備のため効果的なものを精査し導入できるようにする。

問 発達障がい等の配慮を要する子ども達の介助員に対する支援について。

①発達障がい事例のデータベース化について。

②介助員研修実施の効果と今後の取り組みは。


答 ①配慮の必要な児童・生徒の行動パターンをどのように収集・分析するか検討している。

②介助員の資質向上を目的に、理解促進の研修や実際の対応方法等の研修を行っていく。

問 区立小中学生に検定試験受検料の助成を。

答 他自治体の動きを見ながら研究したい。

ポイ捨ては犯罪です!!



無所属の会
金井 しげる

問 災害時に備えた小・中学生の人材育成について。

①防災訓練等を受講した子どもを対象に仮称「こども防災士」認定(スタンプ)カードを発行し、

参加を促す仕組みをつくっては。

②中学生を中心とした防災士育成に向けた資格取得の支援について。

答 ①仮称「こども防災士」認定カードの発行について、本区だけでなく東京消防庁や防災士会とよく話し合いをしていきたい。

②親子で防災士資格認定へのチャレンジ等を考えるが、現時点では補助について構想に入っていないため、今後研究していきたい。

問 駅周辺の繁華街ではカラスによりごみが散乱している。カラスの被害を防ぐため、特に駅周辺の繁華街におけるごみ出しの対策を。

答 集積所周辺の巡回や排出ごみの破袋調査の実施、店舗への排出指導、集積所周辺事業者へ啓発チラシの投函等を行っている。改善が見られない場合は、地元町会・商店街と話し合い集積所の廃止や移設の対応を図りたい。


問 ポイ捨て問題について。

①ポイ捨ては犯罪であり、罪や罰則等を明確化して知らせることで、違法行為であるとの認識とポイ捨てへの意識を変えることに繋がるのでは。②ポイ捨てをなくそうと行動する人に対してポイント制度を設ける等のインセンティブを与えて、更なる活動支援に重点を置くべき。

答 ①ポイ捨てがいくつかの法律違反や罰則に該当しうることをポスター等で掲示していく。イベントでのPR等今後も地域や議員の皆様とともにポイ捨て撲滅に取り組みたい。

②10月リリースのSDGsアプリでは地域清掃活動でポイントが貯まる等、地域清掃活動を更に盛り上げていきたい。多くの人々との連携がまちの美化へと繋がると考える。

区民意見反映、防災ラジオスピーキングテスト中止



日本共産党
牧野 けんじ

問 区民意見の募集と反映のあり方について。①パブリックコメント募集では周知の充実と提出期間見直しを。運用では共通原則を設け、策定過程の明示、要綱規定の基準を明確にすべき。②公共施設再編・整備計画の策定では、意見交換会と公募意見反映の機会を保障すべき。

答 ①提出期間は適切な設定を研究する。全庁で指針を共有、過程の明示は適宜対応している。今後も制度を適切に運用し周知方法等研究する。②ワークショップ等適切な期間で広く伺っている。

問 災害への備えについて。

①関東大震災時の朝鮮人虐殺の認識と啓発を。②自動起動式防災ラジオ普及への購入補助を。③感震ブレーカー分電盤タイプの補助実施を。

答 ①流言は起こる認識で災害対応を考えた。差別意識解消に向け引き続き啓発していく。②17の発信手段があり重層的に行っていく。③各家庭に合う出火防止対策を行っていただく。

問 生活保護行政について。

①不適切事案に関する第三者委員会の公開を。②ケースワーカーに人権等の区独自研修を。③有資格者の充足率の現状と資格取得、有資格者の配置等、目標を定めた計画的な取り組みを。

答 ①委員会設置要綱の定めには則っている。②引き続き人命・人権の意識啓発を行っていく。③全員が有資格者ではない。取得率増に努める。

問 英語スピーキングテストについて。

①昨年度との変更点は。都に中止の要望を。

②事業者変更について都の説明と区の認識は。


③中学1・2年生へのテスト実施概要と認識は。

答 ①大きく影響する変更点はない。現場の声も聞いて伝えるべきことは都に伝えている。

②理由等について都から説明は受けていない。

③要項が提示される。話す力を付けさせたい。

区政に女性視点を、ポイ捨て対策、伝統工芸の保護



立憲民主・国民民主
きもと 麻由

問 本区の伝統工芸の保護のため、ガバメントクラウドファンディングを活用し、伝統工芸品を返礼品にしたふるさと納税を実施しては。

答 本区は返礼品無しのふるさと納税型クラウドファンディングとしている。新サイト立ち上げ、展示販売等を行い伝統工芸の振興に努めたい。

問 子宮頸がんワクチンの接種率向上のため、更なる周知と区ホームページで接種率公表を。

答 より効果的な方法を検討し周知していきたい。子宮頸がんワクチンのメリットやデメリット、接種率はホームページに掲載する。

問 女性に配慮した避難所対策について。

①避難所運営に女性が参加できる計画・施策は。

②避難所生活において性被害等を防ぐ施策を。

答 ①避難所開設・運営マニュアルには女性配慮の視点と積極的な参画を反映させており、良い方向にブラッシュアップしていきたい。②安全パトロールや女性に配慮したスペースの確保等、これからも女性視点を意識したい。

問 たびこ・ごみのポイ捨てについて。


①喫煙所設置、受動喫煙防止区域の設定による効果と残り7駅の受動喫煙防止対策について。②安心してパトロールできる体制づくりを。

答 ①令和5年度中に現在の状況を調査する。新たな屋外喫煙所設置は費用もかかるため、利用状況等様々な観点から総合的に検討する。②注意喚起によるトラブルはゼロにならないと考える。挨拶や清掃姿を見せる等トラブルのリスクを伴わない働きかけを拡大していく。

問 葛西臨海水族園建て替えについて、都へ住民説明会開催や詳細スケジュール公表の要請を。

答 今までも適切な情報発信を要請している。情報発信手段や進捗に応じて適切に公表すると聞いているため引き続き動向を見守っていく。

物価高で苦しむ区民の生活支援、負担軽減策を求め



生活者ネットワーク・れいわ新選組
田村 ひろし

問 物価高で貧困が進む区民生活への認識は。

答 今後も動向を注視し適切な支援を行う。

問 返済不要の給付型奨学金の創設、拡充を。

答 他区の状況を注視しながら研究していく。

問 本区の官製ワーキングプアの待遇改善を。

答 同一職種で同年齢での年収を比較した場合、正規職員と大きな差はないと認識する。

問 国民健康保険料の負担を軽減すべき。

答 多額の法定外繰入は加入者以外の区民にも負担を求めることになる。今後も負担と給付の均衡を図り持続可能な制度運営をしたい。

問 介護難民、介護離職等を防ぐ取り組みは。

答 区独自で介護人材の確保・育成・定着に取

り組んでおり、今後も着実に進めていく。

問 インボイス制度に対する区長の所見を。

答 国の決定であり意見を述べる考えはない。


問 水害時の避難対策が分かりづらいのでは。

答 利用者目線を取り入れた改定を行う。

問 生活保護手前の生活困窮者への支援を。

答 早めの相談が課題であり今後も周知する。

子育て層の負担軽減と全児童生徒に学習支援を



日本維新の会
林 あきこ

問 標準服について。

①高騰に関する調査は行っているのか。

②学校指定品の購入先等は各家庭の判断に。

③経済的に困難な生徒や家庭に更なる支援を。

答 ①毎年学用品等の金額調査を行っている。②今後も柔軟な対応を学校に働きかけたい。③コスト削減等、負担軽減について検討する。

問 保護者に対し小中学校の学用品における推奨品の購入物品は家庭に委ねる旨の案内を。

答 保護者や地域の声も聞いて対応したい。


問 体操着等への名前刺繍を廃止すべき。

答 個人情報に最大限配慮して対応していく。

問 全児童生徒を対象に習い事助成の導入を。

答 他の支援とのバランスも含め研究したい。

若者・高齢者支援を！ごみ屋敷対策の強化を



公明党
川合 さなこ

問 今後の子育て支援の推進について。

①プレコンセプションケアに取り組む目的と意義について。

②プレコンセプションケアの普及啓発について。

③LINE等若い世代が気軽に相談できる形式と併せ、対面での相談体制も必要と考えるが。

答 ①思春期の男女が早い段階から自身の生活や心身に向き合うことで健康の維持や将来子どもを望む方の可能性を広げる。区民の豊かな人生のために取り組みを進めていきたい。

②若い世代が気軽に利用できるアプリを活用して正しい知識を届け、普及啓発に努めたい。

③専門医との対面相談や無料の妊娠可能性検査の実施体制を、区医師会と連携し整えたい。

問 ごみ屋敷の当事者とその問題を抱えた方に対する踏み込んだ支援体制の構築について。

答 環境部が専任組織となり、今後も関係する支援機関と連携・協力して伴走的な支援に努め、更なる支援体制について検討したい。

問 コンビニエンスストアを含めた夜間帯も使用可能なAEDの設置を推進すべき。

答 コンビニへの設置は分布の偏りやコスト増の問題があり断念した。学校等の区立施設にあるAEDを外に移設し夜間も使えるようにしたい。

問 高齢者が安心してペットと生活できる仕組みづくりの構築について、区長の所見を。

答 高齢者が入院等により飼育が困難になった際の対応を区獣医師会と連携し研究する。

問 高齢者健康ボランティアポイント事業の導入を検討すべき。

答 デジタルデバイド解消や支え合いの手段として、提案事業も含め有効な事業を研究する。

決算特別委員会

決算特別委員会は、9月28日から10月12日までの間の8日間にわたって、一般会計と3特別会計の各決算について、皆様の税金がどのように使われ、計画的かつ効果的に執行されたか、慎重に審査を行いました。(委員名簿は8ページ参照)

委員会での審査を踏まえ、10月26日の本会議で採決の結果、令和4年度各会計歳入歳出決算は、賛成39・反対4で認定されました。

令和4年度各会計決算に対する賛否

賛成		反対
自民・公明・無会・立国・ネレ・維新・無所属	共産	

令和4年度決算に対する各会派の意見・賛否

自由民主党

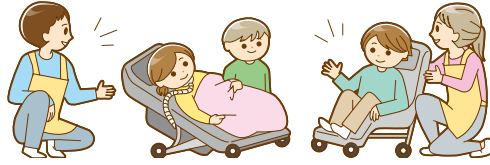
賛成

適正な財政運営のもと、2100年共生社会ビジョン・2030年SDGsビジョンを指針とした、区長の区政運営が確実な前進を重ねていることを評価し、令和4年度各会計歳入歳出決算に賛成する。

【主な要望】

- 障害者雇用について、障害のある職員が当たり前働き、活躍できる場を創出すること。
- 船堀駅前地区まちづくりについて、オープンハウス方式の意見交換会の実施により、区内外の様々な期待を受け止め、区の情報発信の場とすること。
- 本区の芸能・文化芸術・音楽分野の発展と、子ども達が文化に触れる機会を増やすこと。
- 新川さくら館について、地域の団体や事業者との連携・協働による取り組みと、西水門広場や広場橋等、新川を俯瞰的に捉えた取り組みを。
- コロナ借換資金融資制度について、条件を見直し、制度を利用しやすいよう改善すること。
- 利子補給や信用保証料の補助を備えた物価高騰対策緊急融資制度等の新規施策の実現を。
- 伝統工芸の維持・継承・活性化のため、教育委員会や文化共育部と連携して進めること。
- ごみ集積所の増加に見合う増車、増員をするため、集積所の数で積算して予算を出すこと。
- 特色ある公園づくりを進めるとともに、子どもの成長を踏まえた遊具の充実を図ること。
- 口腔ケア検診は、より多くの区民に受診してもらえるよう通年で実施すること。
- 通院困難者でも口腔ケアを受けられるよう環境整備を進めること。
- 成人歯科検診の受診率向上とかかりつけ医の必要性の告知を行うこと。
- 自殺未遂者対策として、インターネットゲートキーパー等の活用を促進し、自殺者ゼロを目指す取り組みを。
- 特別養護老人ホームについて、将来需要の予測に従った計画的な定員増と、システムを導入

- し入居申し込み者情報を効率的に管理すること。
- 介護人材確保について、一定のキャリアを積んだ方に対する支援の充実を。
- 介護サービス開始時、特殊な清掃が必要となるケースに対し、適切な対応策を講じること。
- 医療的ケア児受け入れについて、受け入れ園の拡充と、分け隔て無い保育を。



保育園での医療的ケア児の受け入れについて

- 一人でも多くのヤングケアラーを救うため、学校、地域、NPO、ボランティア団体との連携や周りの大人への啓発を。
- 学校改築の設計業務の発注方式においては、区内設計事務所がより多く参加できるような仕組みの構築を。
- 農業の継承・発展のため、農の風景育成地区の更なる発展と農業の活性化、他地域での展開を検討すること。
- メトロセブンについて、LRTやBRT等の人と環境にやさしい公共交通機関の導入を。
- 補助143号線「旧江戸川橋梁」は、災害時の広域避難や、今井橋の交通量軽減のために必要な橋である。一日も早い工事着工を。
- 学力向上のため、民間委託による放課後補習教室を充実させるとともに、個々の指導が必要な児童生徒に対する支援の充実を。
- 学校統合による通学負担については、通学距離や時間を教育委員会で定め、通学が負担にならないよう緩和措置を行うこと。
- すくすくスクールでの医療的ケア児の受け入れは、希望者の利用に繋がる対応を。
- 不登校の子ども対応の職員を、必要としている全学校に配置できるよう都に働きかけを。また、人員確保についても区として対応の強化を。
- 学校給食食材業者選定には、災害時の救済指定店舗になっている江戸川区米穀小売商組合が選定に参入できるようにすること。

公明党

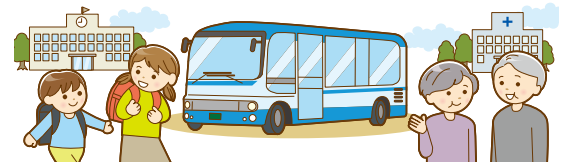
賛成

区民を守る生活者優先の施策が実施されたのか、区民が安心して快適に住み続けられるのか、最小の経費で最大の行政効果を挙げたのか等の視点で審査を行った。その結果、本決算の内容は妥当なものと結論に至り、令和4年度各会計歳入歳出決算を認定する。

【主な要望】

- 特別区民税について、更なる徴収努力を。不納欠損は厳正な債権管理で税の公平性の担保を。
- 寄付金ではクラウドファンディングを活用し、本区の施策を区民とともに推進すること。
- 区民とともに2100年の共生社会ビジョン実現に向けアクションプランの具体的な推進を。
- 公共施設の建て替え、新庁舎建設、学校改築や災害対応等に備えて計画的に基金の積立を。
- DXの技術革新に合わせ職員のスキルアップと、区民のデジタルデバインド解消を。
- SDGsアプリを活用し、自分事として取り組み、SDGsの見える化を。
- 角野栄子児童文学館では、年齢や障がい等に関わらず誰もが楽しめる設備の充実を。
- 区施設のネーミングライツ等の更なる推進を。

- 新庁舎は区のシンボル、且つ災害対応の拠点として、駅周辺のまちづくりと連動して推進を。
- コミュニティ交通の実証運行を分析し、新たな交通不便地域解消に向けた取り組みを。



交通不便地域の解消に向けて

- 資源ごみの持ち去り対策として、条例制定を。
- 学校図書館への司書配置の拡充と、学校図書館の蔵書管理システム導入の着実な推進を。
- 障がい者スポーツについて、ハード・ソフト両面での拡充を。
- 「引越しワンストップサービス」等の来庁しない手続きを推進すること。
- 新型コロナウイルス感染症対策の緊急融資の返済が始まることから、相談体制の充実を。
- 農福連携事業では、農作物の販売等、高齢者・障がい者の利用者が更に励みとなる取り組みを。
- 身近な相談場所としてなごみの家の機能強化で更なるサービス向上を。
- おひとり様支援事業に終活支援の追加を。
- 災害時における要配慮者の個別避難計画作成について、着実に推進していくこと。
- ストーマ装具等、障がい者の日常生活用具の給付額の改定を。
- ひきこもり対策は居場所事業の拡充を。
- 安全安心の質の高い保育の確保を。
- 医療的ケア児の支援について、一人ひとりに寄り添い受け入れ可能施設の拡充を。
- ヤングケアラーの支援について、学校等での周知を進め子ども達を支援する取り組みを。
- 社会的養護が必要な子ども達の退所後支援について、早期の継続的な取り組みを。
- 若年がん患者在宅療養支援事業やがん患者アピアランスケア支援事業の更なる周知を。
- 子宮頸がんワクチンについて、正しい知識を学び、受診率向上を図る取り組みを。
- 新型コロナウイルス感染症への対応を検証し、平時より万全な感染症対策の構築を。
- 自転車用ヘルメット購入助成の拡充を。
- 私道排水改築助成費では、補助率9割の周知に努め、更なる利用拡大に資する活用を。
- 学校のAEDについて、夜間・休日でも、いざという時に使える体制の整備を。
- 発達が気になる子どもには、就学時検診から必要に応じて就学相談に繋がる体制の推進を。
- 学校給食の運営では、給食の質を堅持し、給食費無償化の継続を。
- 読み書きが困難な児童・生徒へのマルチメディアデージー教科書活用について早期に実現を。
- 学校改築は、良好な教育環境とともに、地域防災拠点として地域の実情に合わせた整備を。
- 全ての不登校児童・生徒に個別支援計画を作成し、子どもと保護者の支援拡充を。

無所属の会

賛成

会派内で慎重に審査を進めた結果、令和4年度各会計歳入歳出決算を認定する。

【主な要望】

- 財源の確保に注力した区政運営を期待する。
- 学校改築の区内業者優先の入札制度で、区内

- 業者育成がどの程度達成されたのか示すべき。
- 本庁舎跡地の勉強会参加者が、自分達の意見が受け止められたと実感できるようにすること。
 - 穂高荘・塩沢江戸川荘について低額宿泊施設として、特に子育て世帯に対し効果的な広報を。
 - 防犯カメラ設置補助事業では、空白地における個人宅への防犯カメラ設置補助を進めること。
 - ピオトープの維持管理にボランティア委託等の検討を。地域活動として学校等でも実施を。
 - 集積所のごみを動物に荒らされない工夫を。
 - 事業所健診でがん検診の受診ができること。
 - 自殺未遂の搬送者が相談窓口の支援に繋がる仕組みづくりを、23区連携で行うこと。
 - えどがわボランティアプラットホームについて、区内全9か所のなごみの家で実施を。
 - 子ども食堂への都助成金がなくなることを理由に本区も助成しないというのは再考すべき。
 - 企業主導型保育園に通う家庭には第二子の減免措置がないため、前向きな検討を。
 - 養育費確保支援補助金事業について、引き続きの周知と支援を。
 - 高騰が続く小中学校の建築費は、コスト意識を持ち、将来の財政状況を見据えた取り組みを。
 - 学校図書館における学校司書の配置を。
 - 子ども達の登下校時の見守りに、シルバー人材センターを活用した見守りの検討を。



子ども達の登下校時の見守りについて

- 家庭負担軽減のため、学校で彫刻刀や習字道具等の学用品を揃える動きが更に広がること。
- 制服リユースの取り組みを進めていくこと。
- ランドセルが指定品でないことの周知と、入学準備品の記述にその旨を明記すること。
- 障害のある子どもない子ども学校が楽しいと思える「チーム学校」の取り組みの充実を。
- 知的障害のない発達障害児の固定学級を必要とする子ども達がいるため、前向きな検討を。

日本共産党

反対

審査にあたり、物価高騰に苦しむ区民の命と暮らしを守る立場に立っていたか、住民福祉増進のために税金が適正に使われたか、区政に民主主義と公正が貫かれたか、国の政治にどのような態度をとったかという観点で審査した結果、令和4年度各会計歳入歳出決算に反対する。

【主な反対理由】

- 公契約条例では適用範囲引き下げ、労働報酬単価引き上げが必要だが、具体策を示さないこと。生活保護行政では資格取得支援に積極的でなく、制度周知のポスター作成も拒む姿勢。保育園の人員費割合50%以上を求めても否定すること。保育従事職員宿舎借り上げ支援事業の対象は都の基準通り拡大すべき。
- スーパー堤防を高台まちづくりと称して住民負担の重い区画整理と一体で進めることはやめるべき。Park-PFIによる公園整備では、住民ニーズを事前に把握しないまま事業者調整を優先する姿勢は住民軽視である。住宅リフォーム工事に助成がないこと、緊急防災ラジオや止水板の普及に消極的な姿勢も問題である。
- 消費税減税を国に求め、区の利用料・使用料

への消費税転嫁もやめるべき。現行保険証は残し、マイナンバーカード作成の強制はやめるべき。羽田空港新ルートの影響は大きく中止を求める考えやアンケートも実施しないこと。



羽田空港荒川沿い新ルートについて

- 教職員について、都や国に定数増を求めず、小1支援員や区独自の教職員配置に否定的な姿勢。給付型奨学金の拡充や、特別支援教室の子ども達の学習支援のため巡回指導拠点校の増設と適切な教員配置を行うべき。英語スピーキングテストの都立高校入試活用は中止すべき。
- 国保料は軽減し、短期証等の発行は中止すべき。介護保険計画では保険料値上げ等はやめるべき。後期高齢者医療制度は廃止すべき。

立憲民主・国民民主

賛成

令和4年度各会計歳入歳出決算を認定する。

【主な要望】

- 都区間の財政調整協議において、都側が区児童相談所の事務実費を財政調整交付金の対象と認めていないことは残念である。今後も子どもに寄り添う持続可能な児童相談所であり続けるためにも、都との交渉には毅然とした厳しい姿勢で対応すべき。虐待や一時保護等の深刻な事態に対しても、子どもの権利が守られる児童相談所であること。
- 区内業者優先の学校改築事業について、最も重要なのは子どもの教育環境を遅滞なく具現化することである。当初概ね30億円であった学校改築経費が50億円を上回っている現状や区内事業者の施工能力、雇用環境等様々な状況を勘案し、施工事業者に対する考え方について改めて研究すること。
- 在宅介護の負担は依然として重く、高齢者夫婦の老老介護や家族介護、ヤングケアラー等、在宅介護の家族へのしわ寄せもあり、課題は深刻である。超高齢化社会を迎えている現在、住み慣れた地域で自分らしく生きるという理念を体現することは共生社会の構築の根幹であると考え。



在宅介護の負担について

- 妊娠・出産を応援するぴよママギフトの対象店舗のほとんどが個人商店であり、子ども服や育児用品等を扱う量販店やスーパーマーケット等対象店舗を拡大すべき。あるいは、新たな商品券をつくる等ニーズに合った取り組みを。
- 葛西臨海水族園の建て替えについて、区民からの心配の声が多く届いていること、都の地域住民に対する対応への懸念がある。タイムリーで開かれた説明会の開催を、引き続き都に対して要望していくこと。

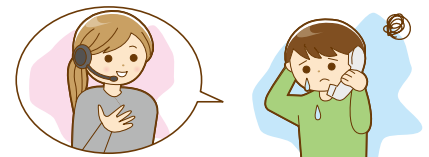
生活者ネットワーク・れいわ新選組

賛成

子ども・若者世代への支援にも力を入れ、子どもの権利を守る姿勢に鑑み、令和4年度各会計歳入歳出決算を認定する。

【主な要望】

- 官製ワーキングプアと呼ばれる非正規職員の待遇改善を。
- 住民基本台帳の公表は、国・地方公共団体と調査研究の閲覧とに分け、年度での記載を。ホームページ等には、DV等支援措置対象者の記録は閲覧できない旨の記載を。
- マイナ保険証については厳格な運用を。
- 子宮頸がん検診の重要性について啓発を。
- 生活保護業務については、適正な事務処理と被保護者に対して丁寧な対応に努めること。
- 子どもの権利条例の更なる周知、相談室設置や電話番号を持たない子どもの相談も受けられるようにすること。使いやすい「子どもの権利ほっとライン」に向け、子どもの意見を聞くこと。



使いやすい子どもの権利ほっとラインに向けて

- スーパー堤防整備方針の見直しを。
- 学校以外の子どもの学びの選択肢は、ホームページ等に分かりやすい表示を。

日本維新の会

賛成

十分な歳入確保と少ない経費で費用対効果の高い行政運営がされたかという点で審査した結果、令和4年度各会計歳入歳出決算を認定する。

【主な要望】

- 高齢者に届きにくい防災行政無線の改善を。
- 標準服のリユースについて、環境部と教育委員会が連携して更なる活用の推進を。
- eスポーツができるゲーミングPCについて他の共有プラザにも配置を。



共有プラザでeスポーツができるように

- 養育費確保支援補助金事業では、養育費の支払いを含めた離婚後の見守り等の取り組みを。
- 生徒数が増えているインターナショナルスクールへの自転車安全教育的働きかけを。
- 区内幼稚園・小中学校の機械警備の大半が随意契約や単年度契約である。複数年契約が可能なることから競争入札の必要性等の調査と検討を。

無所属

賛成

令和4年度各会計歳入歳出決算に賛成する。

【主な要望】

- 太陽光パネル設置の推進に慎重な姿勢を。
- コロナ禍前の日常を取り戻すため、教育機関等に提示した感染症対策の広告物は撤去すべき。
- コロナワクチンの接種のリスク等も踏まえた多角的な判断材料を区民に伝えること。
- 学校給食では日本人に合わない小麦食でなく、米食中心の給食を継続し品質を守ること。

議案等の審議結果

議案の内容はホームページに掲載しています。右記のQRコードからもご覧になれます。



全会一致となった議案等の審議結果

件名		結果
区 長 提 出 議 案	予算	可決
	令和5年度江戸川区一般会計補正予算(第6号)	
	令和5年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	
	令和5年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
	ともに生きるまちを目指す条例の一部を改正する条例	
	活力ある区内産業を推進する条例	
	歳を重ねても幸せに暮らせるまち条例	
	障害のある人が自分らしく暮らせるまち条例	
	ひきこもりの状態にある人やその家族等へのサポート推進条例	
	江戸川区附属機関の設置に関する条例	
	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	
	江戸川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
	江戸川区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
	江戸川区乳児養育手当の支給に関する条例の一部を改正する条例	
	江戸川区事務手数料条例の一部を改正する条例	
江戸川区プールの基準に関する条例の一部を改正する条例		

件名		結果
区 長 提 出 議 案	条例	可決
	江戸川区興行場法施行条例の一部を改正する条例	
	江戸川区旅館業法施行条例の一部を改正する条例	
	東京都市計画事業篠崎駅西部土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例	
	訴えの提起について	
その他	公の施設の区域外設置に関する協議について	可決
	児童相談所を設置する特別区における措置費共同経理課の共同設置に関する規約	
同意	江戸川区教育委員会委員の任命同意について	同意
議員提出議案	江戸川区議会の個人情報の保護に関する条例	可決
	下水サーベイランス事業の実施を求める意見書	

区長提出議案に対する議員別の審議結果はこちらをご覧ください。



■9月25日議決分 ■10月26日議決分

意見が異なった議案等に対する各会派の態度 (○…賛成、×…反対)

※1 議長を除く

件名	自民	公明	無会	共産	立国	ネレ	維新	無所属(50音順)	結果
	11人※1	12人	5人	4人	4人	3人	2人	1人 1人	
区長提出議案 報告 令和4年度江戸川区各会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	認定

会派名：自民…自由民主党、公明…公明党、無会…無所属の会、共産…日本共産党、立国…立憲民主・国民民主、ネレ…生活者ネットワーク・れいわ新選組、維新…日本維新の会、無所属…会派に属していない議員を左から50音順に表記しています

～区議会だより第253号における訂正とお詫びについて～

前号の区議会だより第253号における「議案等の審議結果」について、「江戸川区立小岩第一中学校改築に伴う機械設備工事請負契約」を全会一致としていましたが、正しくは、無所属の会が反対となり、全会一致ではありません。心よりお詫びし訂正いたします。区議会ホームページでご覧いただけるPDF版では、正しい内容に修正しております。

皆さんから提出された請願・陳情

請願・陳情については、こちら⇒



新たに受理されたもの		付託委員会
13号	羽田新ルート(荒川ルート)の運用中止と教室型住民説明会の開催を国に働きかけるよう求める陳情	生活振興環境委員会
14号	都内他区に設置されている民営火葬場の火葬料金を届け出制として適正管理することを区に求めるとともに、区外既存の民営火葬場に関して同様な法整備を求める意見書を都や国に提出することを求める陳情	福祉健康委員会
15号	現行の健康保険証の存続を求める陳情	福祉健康委員会
16号	健康保険証の存続を求める陳情	福祉健康委員会
17号	「介護報酬のプラス改定を求める意見書」を国に提出することを求める陳情	福祉健康委員会
19号	情報UD(ユニバーサルデザイン)推進係の創設を求める陳情	総務委員会
20号	生活保護不適切取扱事案についてホットラインの設置を求める陳情	福祉健康委員会
21号	生活保護受給者へのアンケート実施を求める陳情	福祉健康委員会
22号	生活保護受給者を代表委員として検証委員会に加えてほしく要望する陳情	福祉健康委員会
23号	江戸川区の各施設において区議会の中継放映を求める陳情	議会運営委員会

今回の定例会で取り下げられたもの	
3号	小中学校の給食費の無償化を求める陳情

区議会ホームページでは会議の結果を公開しています



①本会議の内容や結果を確認したい場合は、トップページにある「議決結果」をクリックしてください。

②「議決結果」のページには、「会議の結果」、「一般質問通告」、「議案一覧」等、本会議の議案や請願・陳情の審査状況と審議結果、議員の出欠席状況を確認できます。

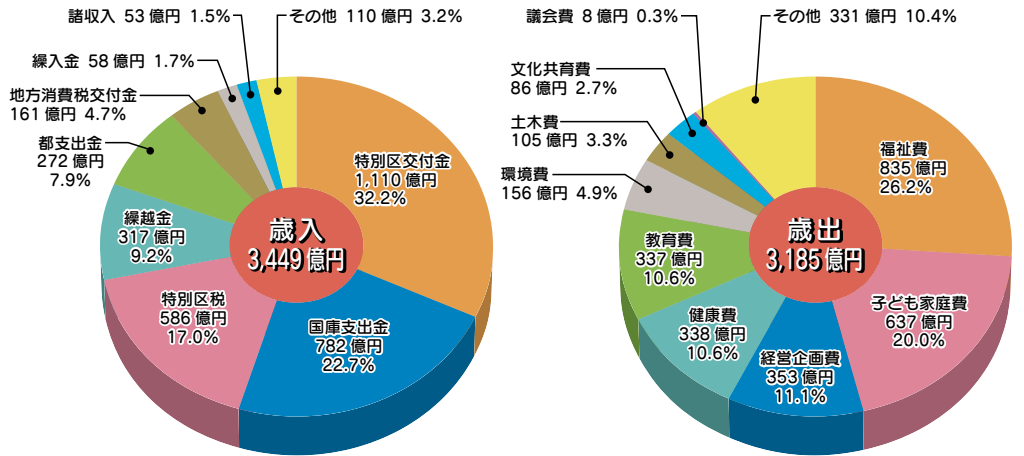
③「議決結果」の項目のひとつである「会議の結果」をクリックすると、定例会ごとに内容がまとまっています。ここから「録画配信」で、本会議の録画映像をご視聴いただけます。

令和4年度各会計決算のあらまし

一般会計決算の内訳

区分	歳入	歳出
一般会計	3,449億円	3,185億円
国民健康保険事業特別会計	629億円	618億円
介護保険事業特別会計	506億円	488億円
後期高齢者医療特別会計	156億円	154億円

※金額及び構成比は表示単位未満(億単位)を四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。
 ※歳出を上回る歳入の額は、翌年度の予算に組み入れられ、区民のために有効に使われます。



決算特別委員会委員 (◎委員長○副委員長)

- | | | |
|----------|-------|--------|
| ◎ 福本みつひろ | 牧野けんじ | 神尾てるあき |
| ○ 堀江そういち | きもと麻由 | ます 秀行 |
| 中野ヘンリ | 小林あすか | 金井しげる |
| 五十嵐まさお | 本西みつえ | 間宮 由美 |
| 田村ひろし | 伊藤ひとみ | 小俣のり子 |
| 林 あきこ | 佐野ともこ | 田中 寿一 |
| 丸山れいこ | 所たかひろ | 笹本ひさし |
| 勝山まゆみ | しかくら勇 | 伊藤てる子 |
| 小林ともお | 大橋美枝子 | 竹内すすむ |
| 太田あやか | 滝沢やすこ | 高木ひでたか |

委員定数 20 人 (委員の途中交代あり)

議員から提出された議案

— 意見書は各関係機関に送りました —



○江戸川区議会の個人情報に関する条例

この条例は、江戸川区議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めるとともに、議会が保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める個人の権利を明らかにすることにより、議会の事務の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利利益を保護することを目的とする。

○下水サーベイランス事業の実施を求める意見書

〔内閣官房長官、厚生労働大臣、国土交通大臣、感染症危機管理担当大臣 あて〕

江戸川区SDGs中学生議会を開催しました!!

令和5年11月11日に「江戸川区SDGs中学生議会」を開催しました。SDGs中学生議会は令和3年度に初めて開催され、今回2回目の開催となります。区内各中学校から代表中学生が集い、中学生議員として、全体勉強会やグループワーク、リハーサル等を通じ、SDGsへの理解を深め、区長に質問や提案を行いました。

■本番に向けて準備をしている中学生議員達



詳細は、12月15日発行の区議会だより第255号 (SDGs中学生議会号) に掲載いたします。また、区議会ホームページに、本番当日の写真や開催内容等の詳細を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



総務委員会 主な議案審査内容

○令和5年度江戸川区一般会計補正予算 (第6号)

・結婚パスポート事業について

委員より、結婚パスポート事業について質問があり、執行部より、本事業は「えどがわ50の子育てプラン」のひとつとして、結婚後1年以内に区内に在住する方に対し区の宿泊施設やスポーツ施設、映画館等で、無料もしくは割引の特典を利用できる結婚パスポートを発行する。区内施設の利用を通じて区の魅力を実感してもらい、定住促進や少子化対策に繋がりたい。対象者は来年1月1日以降に結婚される方々で、外国人や同性パートナー、事実婚も含む予定であるとの答弁があった。

これに対し、委員より、割引が利用できる施設の拡充について検討していくとともに、本区に長く住み続けてもらえるよう、本事業を力強く進めていくことが要望された。

○活力ある区内産業を推進する条例

委員より、本条例の概要について質問があり、執行部より、活力ある区内産業を推進することで、地域経済の発展と誰もが生き生きと安心して暮らすことのできる地域社会を実現するため、区の責務及び施策の基本的事項等を定める。ともに生きるまちを目指す条例の理念のもと、産業経済分野での区の責務や事業者支援施策の方向性を明文化し、区の考えを内外に示していくものであり、今後の施策立案の拠り所としていくとの答弁があった。

これに対し、委員より、事業者や関係団体等の意見を聴取し施策に反映することは非常に重要であるため、事業者に寄り添い、区内産業発展のために力を入れて支援を進めていくよう要望された。

区議会広報委員会 (◎委員長 ○副委員長)

- | | |
|---------|--------|
| ◎高木ひでたか | ○関根まみ子 |
| 小林あすか | 小俣のり子 |
| | 滝沢やすこ |